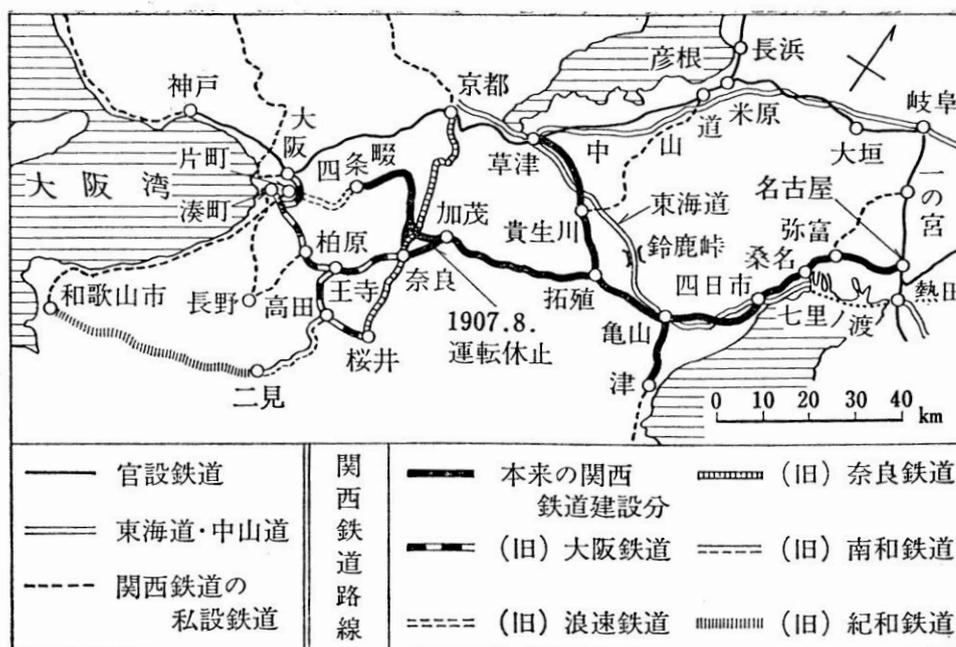


生駒山に挑む—近鉄奈良線の100年—

三木理史(奈良大学)

はじめに

I 大阪鉄道と関西鉄道



4図 関西鉄道の路線網(1906年9月現在)

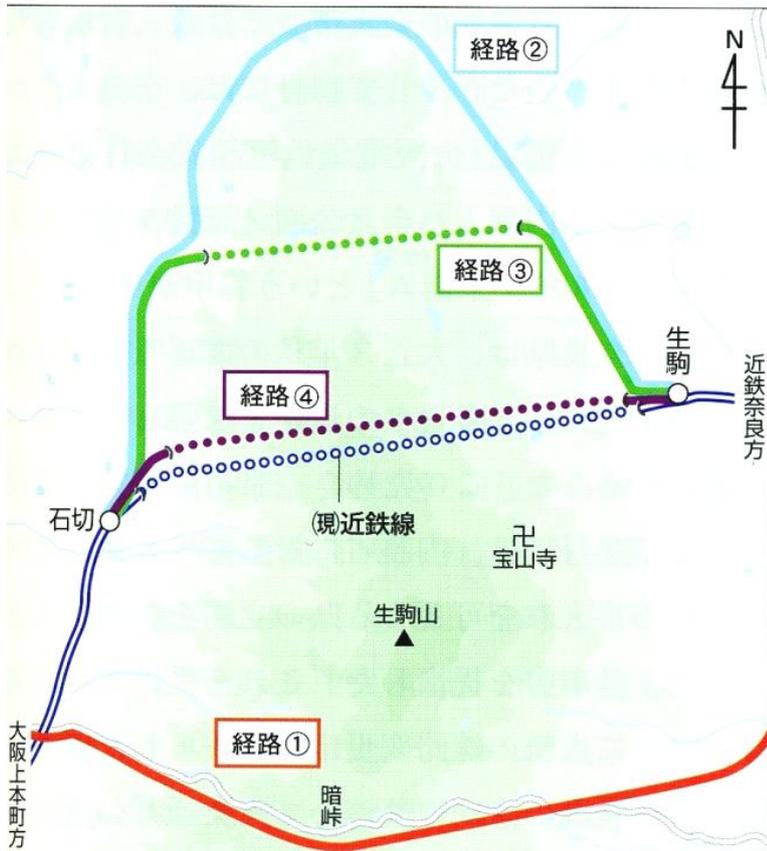
出所：原田勝正・青木栄一『日本の鉄道—100年のあゆみから—』三省堂, 1973年

II 大軌の出現

III-1 大阪電気軌道→関西急行鉄道→近畿日本鉄道→現・近鉄奈良線・橿原線・大阪線

開業区間	料程	免許・特許	開業	備考
上本町—大軌奈良	30.8	明治40年 4月30日	大正 3年 4月30日 大正 3年 7月 8日	現・奈良線
大軌西大寺—大軌郡山	5.4	大正 7年11月19日	大正10年 4月 1日	現・橿原線
大軌郡山—平端	4.4	"	大正11年 4月 1日	"
平端—橿原神宮前	13.5	"	大正12年 4月 1日	"
(布施—大軌八尾)	5.1	大正10年 9月28日	大正13年10月31日	現・大阪線
(大軌八尾—恩智)	4.3	"	大正14年 9月30日	"
(恩智)—大軌高田	16.6	"	大正 2年 7月 1日	"
大軌高田—大軌八木	4.8	"	大正14年 3月21日	"
大軌八木—桜井	5.0	昭和 2年 4月19日	昭和 4年 1月 5日	" 当時から地方線

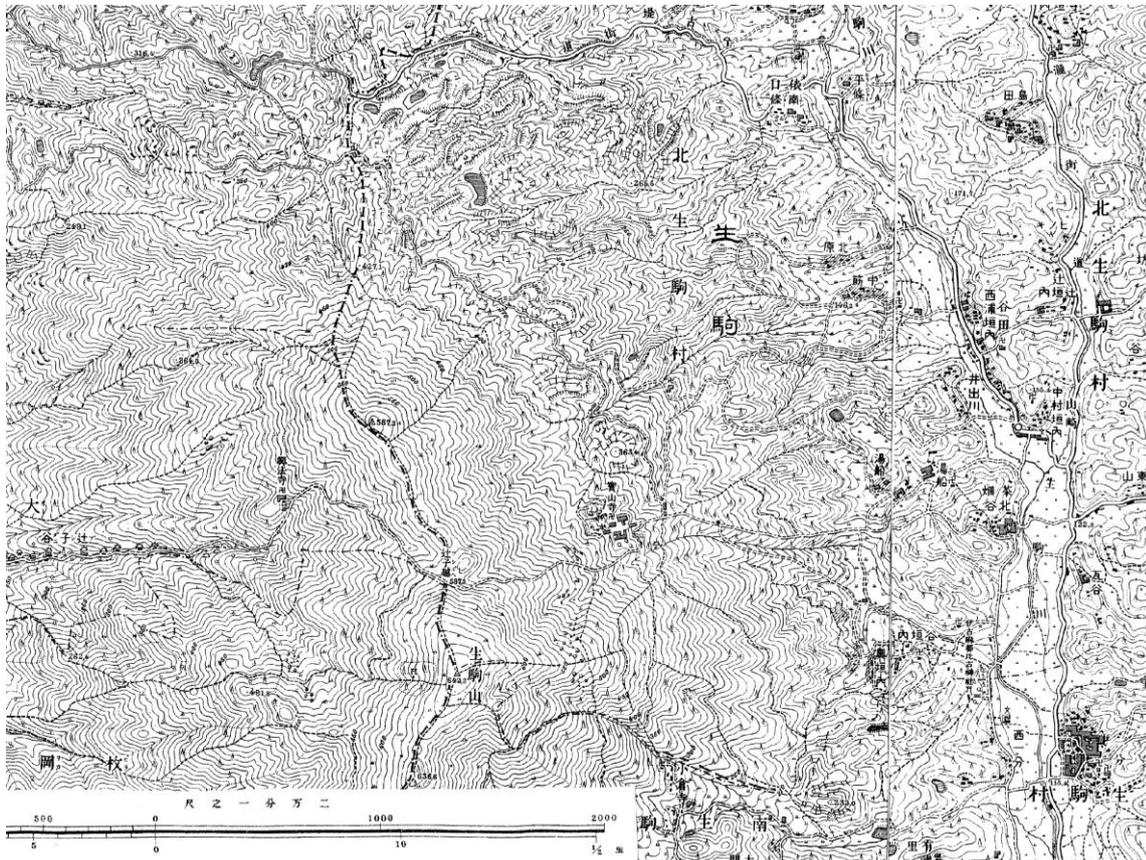
昭和16年 3月15日に関西急行鉄道と改称。大軌八木—桜井間を除いて軌道として免許(特許)を受けていたが、昭和17年10月 1日にそれ以外の区間も地方鉄道に変更。昭和19年 6月 1日に畿日本鉄道に合併。



- (1) 生駒山地を北に向かい、北河内郡四條村（現大東市）で山嶺を越え、さらに南進して斜めに東麓を下り、生駒谷を渡って富雄村丘陵を通過する約16.0km（以下、「経路②」という。）
- (2) 生駒山西麓の善根寺谷で約2.2kmのトンネルを掘削し、東麓に出て斜めに生駒谷を下り、富雄村丘陵を通過する約14.5km（以下、「経路③」という。）
- (3) 日下から約3.2kmのトンネルを掘削し、生駒山の東麓に出て生駒谷を渡り、富雄村丘陵を通過する約12.0km（以下、「経路④」という。）

出所：近畿日本鉄道『近畿日本鉄道 100年のあゆみ』

III 生駒駅周辺の変化





IV 生駒線をめぐって

<近鉄生駒線>

- 1918(大正 7)年 11月 信貴鉄道が王寺―生駒間ほかの免許を申請
- 1919年 8月 免許→信貴生駒電気鉄道に商号を変更
- 1922年 5月 王寺・信貴山上間で運輸営業を開始
- 1926年 10月 信貴山下・元山上口間開業
- 12月 元山上口・新生駒仮駅間開業
- 1927年 4月 新生駒仮駅・新生駒間開業

<京阪交野線>

- 1920(大正 9)年 1月 生駒枚方電気鉄道発起人が、生駒―枚方東口間の免許を申請→京都から生駒聖天参詣の便を開くため
- 1921年 7月 生駒電気鉄道株式会社を設立→財界不況下で生駒駅をはさんで南北双方に伸びる計画を一体化するため
- 1924年 7月 信貴生駒電気鉄道と生駒電気鉄道は合併 1929年 7月 私市―枚方東口間が枚方線として開業
- 1939年 5月 交野電気鉄道に枚方線を譲渡

